



## 家康パワーが宿る 神秘の地を巡る



浜松宿周辺は、徳川家康公が17年間過ごした浜松城の城下町でもあったのじゃ。この付近には、家康公ゆかりの史跡が数多く残され、出世運や開運にご利益があるとされるスポットもあるのじゃよ。浜松人に愛され、見守られ続ける神聖な場所で、清々しい時間を過ごすのじゃ！

Hamamatsushuku



### 出世街道はここからはじまった 天下人・家康公の隠れたパワーにあやかる

徳川家康公が元亀元年(1570年)に築城し、29歳～45歳までの17年を過ごした浜松城。駿遠経営の拠点とし、天下統一への礎を築いた城であり、別名「出世城」とも呼ばれている。浜松城公園の緑が美しいこの地は、エリア一体がパワーを放つ清々しい場所。天守閣の展望台からは浜松市街を一望でき、晴れた日には世界遺産・富士山が見えることも。景色も楽しみながら、「家康パワー」にあやかろう。

### 浜松城に散りばめられた家康パワー



**天守閣地下にある井戸**  
籠城の際に必要な水を確保するための井戸だったといわれる。浜松城には計10本の井戸があったそう。



**パワーハウス「開運さま」**  
天守閣に設置された開運さま。「出世大名家康くん」から出世運を授かる。



**凛々しい家康像**  
天守閣にある若き日の家康像。「出世しますように…」と願いながらなると、出世運がUPするかも。



**ハートの石**  
天守石垣は野面積(のづらづみ)という自然石を組み合わせて積まれたもの。この力強い石垣の中には「ハートの石」があり、発見した者には幸せが訪れるといわれている。

【浜松城】浜松市指定史跡  
浜松市中区元城町100-2 TEL.053-453-3872  
<http://www.hamamatsu-navi.jp/shiro/>

### 浜松史上最強!家康と秀吉に 縁深い話題のパワースポット

徳川家康公を祀る神社「東照宮」は全国各地に点在するが、浜松の地にも知る人ぞ知る東照宮がある。明治17年、浜松城の前身となる曳馬城跡に創建された神社だ。永禄11年(1568年)、家康公は今川方の拠点であった曳馬城を攻め入城。その後、城地を拡大して浜松城を構築し、天下人への道を切り拓いていった。さらに、16～18歳の無名だった頃の豊臣秀吉が、ここ曳馬城に居たといわれている。2人の武将を天下人へと導いた場所であり、今では、「出世神社」と呼ばれ、多くの参拝者が訪れている。



鳥居の横には「曳馬城跡(引間城跡)」と刻まれた史跡碑がある。

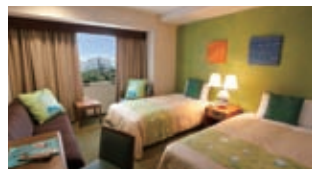


【浜松東照宮】浜松市中区元城町111-2

パワーがみなぎってきたのじゃ!



### 一度は泊まりたい! 開運ホテル



**愛らしい家康くん、ゆる〜く過ごして**  
「出世大名家康くん」のイラストが室内各所に配された、スペシャルな宿泊ルーム。部屋からは「浜松城」が望める。  
■出世大名家康くんルーム  
2名様1室:18,000円(朝食付・予約制)



**家康パワーを取り入れた絶品料理**  
徳川家康公の好物といわれる鯛や茄子、漬納豆などを使った「出世大名膳 家康くん」。旬の地場食材を使った歴史口マンあふれる料理で、明日への活力を養おう。  
■出世大名膳 家康くん  
(ディナー限定・予約制)  
お1人様5,000円(税・サービス料込)



徳川家康公の「しかみ像」が描かれた光輝くパワーカード。家康公にゆかりのある五社神社でご祈禱を施してあり、あらゆるお願いごとを叶えてくれそう。浜松地域ブランド「やらまいか」認定商品。  
■出世城パワーカード  
1枚 880円



### 「出世城」にあやかっただけで パワーチャージ

浜松城に隣接しているホテルコンコルド浜松では、徳川家康公にちなんだ料理など、様々な縁起モノを販売。宿泊するだけで出世運があがりそうな、「出世大名家康くんルーム」もあり、注目を浴びている。浜松城を望みながらランチをするのもよし、開運みやげを探しに立ち寄ってみるもよし。ちょっとリッチな気分でパワーをいただく。

【ホテルコンコルド浜松】  
浜松市中区元城町109-18 TEL.053-457-1111  
<http://www.concorde.co.jp/>



## 家康公の息吹を感じる パワースポットへ

全国津々浦々「パワースポット」と呼ばれる神秘的な場所が人気を呼んでいるが、「徳川家康公」にまつわるパワースポットを数多く有しているのは、浜松宿周辺だけではないだろうか。東海道五十三次の一宿場町として栄えた浜松宿。ここは、徳川家康公が築城し、17年間もの月日を過ごした「浜松城」の城下町であり、今なお、天下人・家康公の足跡が至るところに残されている。

浜松宿は、家康公の入城をきっかけに急速な整備拡大が実施され、発展してきた。その規模は「東海道最大の宿場町」と位置づけられ、江戸時代後期には本陣が6軒、旅籠が94軒もあったといわれている。残念ながら、そのほとんどは太平洋戦争時の戦火により消滅してしまっているが、主要な跡地には説明看板が設置され、浜松宿の繁栄の歴史を密やかに伝え続けている。浜松中心部に訪れた際には、ぜひその説明看板を巡ってみてほしい。

さて、浜松宿周辺のパワースポットについてである。それは浜松城の別名である「出世城」に由来している。元亀3年(1572年)の三方ヶ原の戦いをはじめ、浜松城に居城していた家康公は、千軍万馬の武将たちとの壮絶な戦いを繰り返してきた。襲いかかる幾多の試練を乗り越え、天下人への礎を築いた時代であったとも言えるだろう。そんな家康公の血と汗と涙が、神秘的な力として染み込んでいたのだろうか。家康公が去った後の浜松城は、やがて「出世城」として

脚光を浴びるのである。「城主を務めた者は、大成できる」。不思議なことに、浜松城主を務めた武将の多くが、江戸に戻ると、老中などの重要ポストに就任していった。噂を聞きつけ「是が非でも浜松城主になりたい」と直訴する武将まで出てきたというから驚きである。

浜松「出世の街。出世城のロマン溢れるストーリーと縁起の良さは、まさにパワースポットとしてもふさわしい。浜松城のほかにも浜松宿周辺には、家康公ゆかりの場所やモノが点在している。若き家康公が見据えた、天下統一への野望と不屈の魂。そのパワーは歴史城主たちのみならず、現代の私たちにも有効に働きかけるだろう。



浜松宿には6つの本陣があった。今では、看板だけが昔を伝えている。

## 浜松宿 周辺 Hamamatsu

日本橋から 二十九番目の宿場 〈浜松宿〉

浜松宿周辺エリア

